

2007年12月8日
GIARI アジア統合セミナー

アジア教育協力フレームワークの構築

黒田一雄
早稲田大学大学院アジア太平洋研究科

アジア地域統合研究とは何か？

1. デファクトとしての地域統合の実態把握
- 経済学的？ 社会学的？
2. 地域統合の理念の探求
- 歴史学的？ 哲学的？
3. 地域統合の枠組み (Framework)、組織 (Institution) の把握・分析 - 政治学的？
4. 地域統合のアクターの把握・分析
5. 他地域の統合との比較
- 地域統合論の形成？

変容する国際教育交流

- WTOにおける教育サービス貿易の様々な形態 (4つのモード) をめぐる国際交渉
(1) 「越境取引」- E-learningなどの遠隔地教育
(2) 「国外消費」- 外国人留学生などの受入れ
(3) 「商業拠点」- 海外キャンパスの設立・運営
(4) 「労働移動」- 教員らの海外派遣
→ 国際教育交流は大きく変容
他に、国際教育交流の基盤としての大学間協定
大学の地域連合・国際的枠組みの整備

1. デファクトとしての地域統合の実態把握 - 「東アジア共同体」構想の背景

- 世界経済における東アジアの相対的なプレゼンスの拡大
- 域内の経済的相互依存関係の進展
→ 欧米に依存しない自立的な経済システムの形成
→ 経済において「東アジア化する東アジア」
→ 地域統合による制度整備の必要性
- 国際教育交流においても、東アジアは「東アジア化」しているか？

欧米の留学生送り出し主要3カ国の留学生数の動向

	1987	2002	2002/1987
US	19,707	40,750	2.067
France	12,500	53,152	4.252
UK	14,513	30,201	2.081
Total	46,720	124,103	2.656

アジアの留学生送り出し主要3カ国の留学生数の動向

	1987	2002	2002/1987
China	42,491	274,144	6.459
Korea	22,468	83,242	3.705
Japan	15,335	62,938	4.104
Total	80,294	420,324	5.235

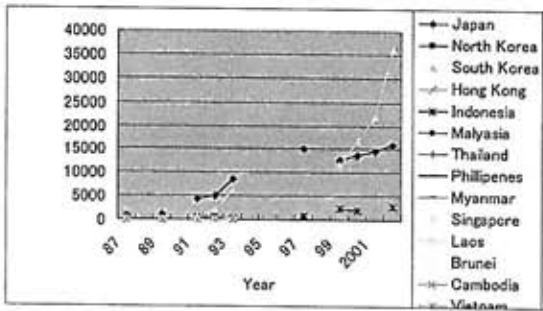
欧米の留学生受入主要3カ国の
留学生数の動向

	1987	2002	2002/1987
US	343,870	586,316	1.705
France	133,848	221,567	1.655
UK	45,416	255,233	5.619
Total	523,134	1,063,116	2.032

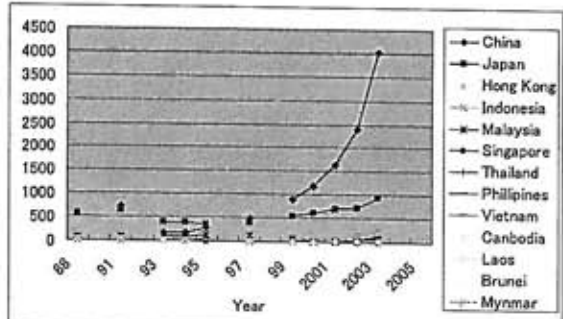
アジアの留学生受入主要3カ国の
留学生数の動向

	1987	2002	2002/1987
China	3,250	85,829	26.408
Korea	900	4,956	5.506
Japan	10,697	86,505	8.086
Total	14,847	177,290	11.941

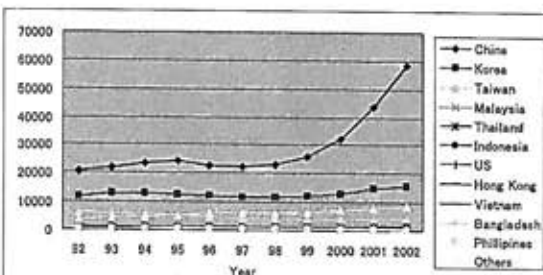
中国におけるアジア人留学生



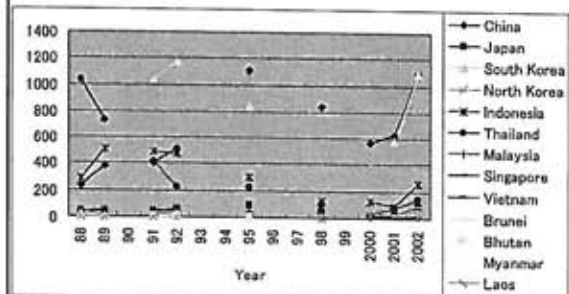
韓国におけるアジア人留学生



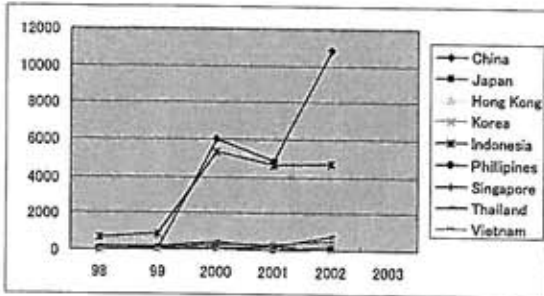
日本におけるアジア人留学生



フィリピンにおけるアジア人留学生

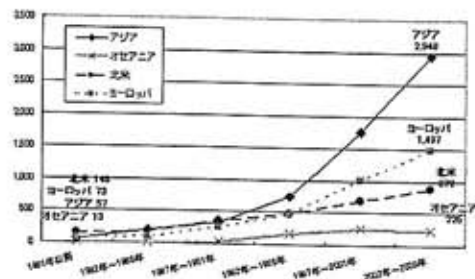


マレーシアにおけるアジア人留学生

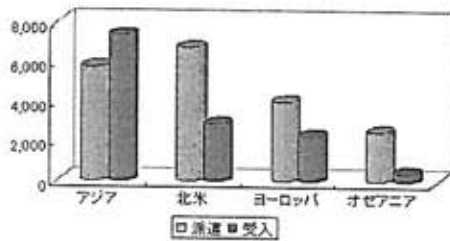


協定の締結時期 (締結先地域別)

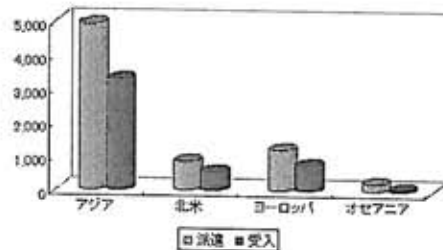
出典: 文部科学省「大学等間交流協定締結状況調査の結果について (平成18年10月1日現在)」



締結先地域別派遣・受入人数 【学生交流】 (単位:人)

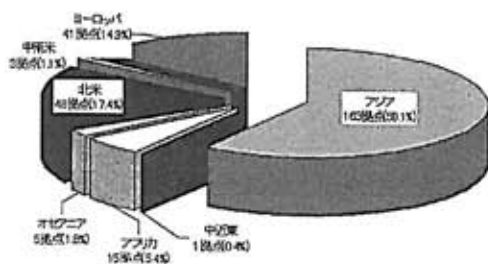


締結先地域別派遣・受入人数 【教員・研究者交流】 (単位:人)



海外拠点の設置地域分布

出典: 文部科学省「大学等間交流協定締結状況調査の結果について (平成18年10月1日現在)」



東アジアの国際教育交流の動向

- 留学生の受け入れ国としての東アジア諸国の世界的なプレゼンスの拡大
 - 留学生の送り出し国としてのプレゼンスの拡大
 - 東アジアから東アジアへの留学生の流れの増大
 - アジアにおける大学間協定の増大
- 国際教育交流においても「アジア化するアジア」

2. 地域統合の理念の探求
 大学モデルと国際教育交流－歴史系列
 コスモポリタン大学モデル

- 大学は「Universe」なもの
 ー普遍的な知の共同体
 - 中世のボローニャ大学・パリ大学・オックス
 フォード大学等でのラテン語を共通語とした
 国際的な教育が原型
- 大学にとって留学生の受け入れ・国際教育
 交流は必然

喜多村(1984), Kerr(1990)

歴史系列
 国民国家大学モデル

- 国民統合や国家的政策目標のための大学
 - 後発国のベルリン大学や東京帝国大学が
 典型
 - 植民支配から独立したアジア・アフリカ・ラテ
 ンアメリカの大学も国家を強く意識
- 留学生派遣や外国教員の招へいには積極
 的だが、留学生の受け入れには消極的

Kerr (1990)

歴史系列

コスモポリタンの国民国家大学モデル

- 近代国家の成熟による国際関係・国際化の
 重要性の認識
- 大学の国際性とその国の学術の発展や対外
 的な政治的・文化的影響力の強化のためにも
 有用

→コスモポリタンの国民国家大学の形成
 →国民国家のために大学の国際化を志向
 →現時点での東アジアの高等教育モデル

江淵(1997)

歴史系列

地域統合大学モデル

- 地域統合に資する高等教育
- 地域協力による大学・国際教育交流
- EC/EU エラスムス計画
- 1999年 ボローニャ宣言
 →「ヨーロッパ高等教育圏」の創造を目的
- →今後の東アジアの高等教育モデル？

UMAPIによる国際的単位互換制度の整備・域内留学交流の促進
 ASEANやAPECでの地域大学ネットワーク事業などの事例

理念系列

国際理解・国際平和モデル

- ユネスコ憲章前文「戦争は人の心の中で生まれるも
 のであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければ
 ならない」が原点
 - フルブライト・プログラムの精神
 - 米国・日本他多数の国の留学政策の代表的理念
 →地球市民形成モデル(江淵1997)や「ヨーロッパ市
 民意識の涵養」(European Commission 1989)に
 発展
- 地域の平和と秩序を志向する「東アジア共同体」に
 不可欠な国際教育交流

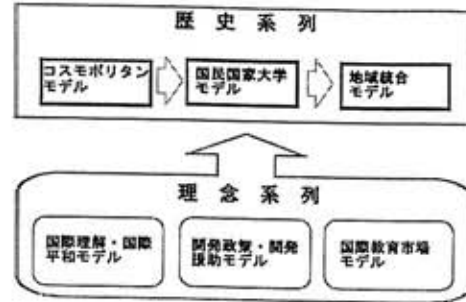
理念系列

開発政策・開発援助モデル

- 近代化・開発政策としての留学生派遣
 - 人的資本論・近代化論を基礎
 →明治期日本・多くの途上国が政策的努力
 - 途上国の人材養成・開発協力としての留学生受入
 →先進国の政府開発援助・財団による奨学金の供与
 - 留学生の派遣だけではなく、受け入れが開発効果を生むと
 いう認識→米国・シンガポール等
- ヨーロッパの地域統合においても、対米・対ソの経済的競争
 力確保のための人的資源戦略として国際教育交流が位置
 づけられている。
- 「東アジア共同体」への国際教育交流に不可欠な視点

理念系列 国際教育市場モデル

- 世界的な国立大学の独立行政法人化・民営化・私立大学の増加・教育費の自己負担化(フルコスト政策)
- 私費留学生の急増→国際的な教育市場の形成→留学生の顧客化→「輸出産業」としての留学生受け入れ(英・豪)
- WTOでも教育サービス貿易の自由化が議論・FTAでも高等教育を対象
 - 中国からの留学生の爆発的増加
 - アジアで進展する高等教育の国際連携・中継貿易
 - アジア・リージョナル教育市場の形成
 - 東アジアの国際教育市場の制度整備・健全化(単位互換・質保証等)の必要性



国際教育交流の歴史的・理念的系譜

3. 地域統合の枠組み(Framework)、組織(Institution)の把握 →アジア地域における国際教育交流の組織的枠組みの分析

問題意識:「東アジア共同体」形成がASEANの主導によって議論されているように、この地域における既存の地域協力は、今後の共同体形成の基となるものである。東アジアでは、これまでどのような高等教育分野での地域協力が行われ、どのような課題があったのか。東アジア地域統合における高等教育協力の基盤を探る。

- (1) APEC・UMAPと留学交流・国際的単位互換制度の整備
- (2) ASEANやAPECでの地域大学ネットワーク事業
- (3) ユネスコアジア太平洋教育事務局・アジア開発銀行などの地域国際機関の高等教育関連事業と高等教育政策の運動
- (4) ASEAN文部大臣機構による高等教育政策の協調
- (5) アジアFTAの展開における高等教育交流の自由化

4. 地域統合のアクターの把握・分析

→アジア諸国・主要大学における東アジア戦略

→個別国、個別大学における国際教育政策、国際戦略、国際教育プログラム、カリキュラム、研究動向、留学生交流、大学間協定・協力、教員交流を東アジア戦略の観点から分析

- (1) 中国・北京大学。。。。。
- (2) 韓国・ソウル国立大学。。。。。
- (3) ベトナム・ベトナム国立大学。。。。。
- (4) 日本・早稲田大学。。。。。

。。。

5. 他地域の統合との比較

→ヨーロッパ地域統合における国際教育交流との比較

問題意識:「東アジア共同体」の議論においては、EUとその形成過程が地域統合の先例としてしばしばとりあげられる。ヨーロッパ地域統合において、国際教育交流はいかなる役割を期待され、どのような整備がなされ、それはどのように評価されているか。東アジア共同体形成へのインプリケーションを探る。

- (1) EUとソクラテス・エラスムス計画の史的展開の把握
- (2) ヨーロッパ諸国・諸大学の取り組みの事例研究
- (3) ヨーロッパ地域統合における高等教育交流の役割の分析

東アジアの国際教育交流を「東アジア共同体」形成につなげるためには？

- アジア各国政府における地域統合志向の国際教育交流ビジョンの形成と共有が必要

具体的には。。。

- ① 東アジアの信頼醸成・アジア市民意識を喚起し、
- ② かつアジアの人的資源の対外的競争力を強化し、
- ③ さらにには現在成長しつつあるリージョナルな高等教育の国際市場を整備・健全化する

といった3つの目的のバランスのとれた国際教育交流の役割が重要。

第1回東アジアサミット「クアラルンプール宣言」

- 6. われわれは、「われわれ」意識の形成を目指した人と人の交流を強化する。
- 7. われわれは、東アジア諸国の学生、学者、研究者、芸術家、メディア及び青少年の間の更なる相互交流を通じた考え方の共有を促進する。
- 8. われわれは、不寛容と闘い、かつ、文化・文明間の理解を改善するため、知識と理解の深化を通じて東アジア及び世界が裨益するような、知識人、シンクタンクのメンバー、宗教家及び学者の間の恒常的な交流を行う。

→理想主義的な国際理解・国際平和志向。国際教育交流の経済的側面を含めて、多様な目的と役割を共有することが必要。

参考文献

- ・ 遠田利夫編・日本総合研究所調査部環太平洋研究センター編『東アジア経済連携の時代』東洋経済新報社 2004
- ・ 遠田利夫編『東アジア市場統合への道』勁草書房 2004
- ・ I.I.E. *The Goals of Student Exchange*, New York, Institute of International Education, 1955
- ・ 藤多村和之『大学教育の国際化』玉川大学出版部 1984
- ・ Kerr, Clark 1990, "The Internationalization of Learning and the Nationalization of the Purposes of Higher Education: Two 'Laws of Motion in Conflict'", *European Journal of Education*, 25 (1), 1990, pp.55-60.
- ・ 李錦東『近代中国における日本留学と日本の教育者たち』大里浩秋・孫安石編『中国人日本留学史研究の発展』お茶の水書房 2002
- ・ European Commission ERASMUS Programme, *Annual Report 1988*, Brussels, 1989
- ・ UNESCO, *Statistical Yearbook*, Paris, 各年版
- ・ 中国国家教育委員会『中国教育統計年鑑』各年版
- ・ 江原一公『大学国際化の研究』玉川大学出版部 1997
- ・ 光澤彰延・木村出『高等教育グローバル市場の発展』JIBICI Working Paper No. 18, 国際協力銀行開発金融研究所 2004

参考文献

- ・ Ninnes, Peter and M. Hellsten ed., *Internationalizing Higher Education*, CERC Studies in Comparative Education 16, Comparative Education Research Centre, The University of Hong Kong, 2005
- ・ 藤田毅弘編『アジア太平洋諸国の留学生受入政策と中国の動向』文部科学省科学研究費補助金(基盤研究B)平成15年度～16年度 調査報告書(中国報告)2005
- ・ 谷口誠『東アジア共同体』岩波新書 2004
- ・ Field, John, 1995 *European Dimension: Education, Training and European Union*, Higher Education Policy Series, No. 39, London: Jessica Kingsley
- ・ De Wit, Hans, 2002, *Internationalization of Higher Education in the United States of America and Europe: A Historical, Comparative, and Conceptual Analysis*, Westport, Connecticut: Greenwood press
- ・ 西村夏夫『インドネシア人の留学』権藤有志丸編『世界の留学』東信堂 1991
- ・ 近藤謙『もろびとつの日米関係』ジェンティムス 1992
- ・ 井上雅雄『教育交流論序説』玉川大学出版部 1994
- ・ Srisa-An, Wichit 1996, "Academic Mobility in South-East Asia and the Role of Thai Higher Education", Blumenthal, Peggy et al. ed., *Academic Mobility in Changing World - Regional and Global Trends*, Higher Education Policy 29, Jessica Kingsley Publishers, London, 1996